

実地視察大学の概要

○課程認定を受けている学科等の概要

大学名	弘前学院大学			設置者名	学校法人 弘前学院			
学部・学科等の名称等			認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況 (平成22年度)			
学部	学科等	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業者数	免許状取得者数		教員 就職者数
						実数	個別	
文学部	英語・英米文学科	50人	中一種免(英語)	昭和47年度	30人	6人	5人	1人
			高一種免(英語)	昭和47年度			6人	
	日本語・日本文学科	50人	中一種免(国語)	昭和47年度	50人	6人	5人	2人
			高一種免(国語)	昭和47年度			6人	
社会福祉学部	社会福祉学科	100人	中一種免(社会)	平成12年度	60人	5人	4人	2人
			高一種免(地理歴史)	平成12年度			2人	
			高一種免(公民)	平成12年度			3人	
			特支一種免(知・肢・病)	平成20年度			4人	
入学定員合計		200人	合計		140人	17人	35人	5人
大学名	弘前学院大学(大学院)			設置者名	学校法人 弘前学院			
学部・学科等の名称等			認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況 (平成22年度)			
研究科	専攻等	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業者数	免許状取得者数		教員 就職者数
						実数	個別	
文学研究科	日本文学専攻	10人	中専免(国語)	平成17年度	2人	0人	0人	0人
			高専免(国語)	平成17年度			0人	
入学定員合計		10人	合計		2人	0人	0人	0人
備考	・「学部・学科等の名称等」欄は、平成23年4月1日現在の名称・定員である。 ・「免許状取得者数」欄の「実数」欄は各学科等の実人数、「個別」欄は各学科等内の教職課程ごとの人数である。							

実地視察大学に対する講評

実地視察日：平成23年7月15日（金）

実地視察大学：弘前学院大学

実地視察委員：梶田叡一委員、宮崎英憲委員、高倉翔委員

■ 大学の教員養成に対する全般的な状況

<状況>

- ・大学では2学部3学科、大学院では1研究科1専攻で教員養成を行っている。

<講評>

- ・教員養成に関する教育課程、教員組織等について、全般的に基準を満たしており、良好に実施されている。

■ 教員養成に対する理念、設置の趣旨等の状況

<状況>

- ・建学の精神である「畏神愛人」を基礎とした人間性豊かな人格の完成を目指し、文学・社会福祉についての専門性を追求し、地域や国際社会に貢献できる人材を育成するという方針のもと、そうした人材が自らの専門性を活かし、教育という形で地域社会に貢献できるようにするために教職課程を設置している。

<講評>

- ・教員養成に対する理念・構想が示されているが、それを明確化・具体化するために、教職課程に対する全学的な組織、教育課程や教員組織をより一層充実したものとなるように努めること。

■ 教育課程（教職に関する科目等）、履修方法及びシラバスの状況

<講評>

- ・シラバスについて、学生に講義内容・到達目標等が明確に伝わるよう、詳細に記載すること。
- ・「教職に関する科目」について、シラバス上、教育職員免許法施行規則に定める含めるべき事項が含んでいないように見受けられるので、実際に授業中に当該事項を扱っているのであれば、シラバス上も分かるように記載すること。
- ・「特別支援教育に関する科目」の専任教員について、実際には授業担当や学生指導をしていなければ、専任教員とは言い難い。確認の上、教員組織の整備を行うこと。
- ・学則について、教育課程の開設状況が明確になるように、適切に改正すること。

■ 教育実習の取組状況

<状況>

- ・ほとんどの学生が大学の近隣にある出身中学校、高等学校で実習を行っている。
- ・学生の出身校が遠隔地である場合、同一法人が設置している弘前学院聖愛中学校及び高等学校で実習を行っている（毎年2～3人）。

<講評>

- ・教育実習の実施にあたっては、課程認定大学は、教育実習の全般にわたり、学校や教育委員会と連携しながら、責任を持って指導に当たることが求められる。
- ・大学による教育実習指導体制や評価の客観性の観点から、可能な限り大学が所在する近隣において実習先を確保することが望ましいが、学生が出身地の学校への就職を希望する等により、遠隔地における教育実習を行う場合においても、大学が、実習先の学校と連携し教育実習に関わる体制を構築するとともに、公正な評価となるように努めること。

■ 学校現場体験・学校ボランティア活動などの取組状況

<状況>

- ・授業科目としては設定していないが、教職を志望する学生を対象に、平成22年度から近隣の弘前第三中学校において「教職志望者のためのプレ実習」を実施している。

<講評>

- ・教職を目指す学生の後押しとなるように、学校現場体験等の情報提供に努めること。
- ・今後も近隣の学校と連携・協力して、学校現場体験やボランティア活動の場を広げるように努めること。

■ 教職指導及びその指導体制の状況

<状況>

- ・新学期始めに、各学年を対象とした「教職履修ガイダンス」を行っている。
- ・「教職履修ファイル」（履修カルテ）の記載状況に不備がある又は学業成績や履修登録に問題がある学生に対し、必要があればその都度、個別に履修指導等を行っている。

<講評>

- ・免許状取得者数が大幅に減少しているため、一度教職を目指した学生のモチベーションを持続できるような教職指導に努めること。

■ 教員養成カリキュラム委員会などの全学的組織の状況

<状況>

- ・教職課程に関する事項全般を所掌する「弘前学院大学合同教職関係委員会」を設置している。

■ 施設・設備（図書等を含む。）の状況

<講評>

- ・図書について、最新の学習指導要領、教科書並びに教職関連雑誌等を充実させ、学生が利用しやすいよう配置を工夫すること。

